

# 台東区障害者実態調査 報告書

---

## 概要版

平成25年12月  
台東区



## 目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の概要	1
(1) 調査対象者及び対象者数	1
(2) 調査方法	1
(3) 調査期間	1
(4) 調査票回収数及び回収率	1
3. 報告書の見方	2
第2章 調査結果	3
1. 基本的属性	3
(1) 性別、年齢	3
(2) 障害の種類と程度	4
(3) 難病等の方が障害福祉サービス等の対象に加わったことの認知度	6
2. 暮らし方について	7
(1) 現在の暮らし方	7
(2) 将来希望する暮らし方	8
(3) 現在の居住地と将来希望する居住地	10
3. 日常生活について	11
(1) 生活の中での悩みごと	11
(2) 現在の日中の過ごし方	12
(3) 就労状況	14
(4) 働きやすい環境にするために必要なこと	15
(5) 希望する日中の過ごし方	16
4. 障害福祉サービスについて	18
(1) 障害福祉サービスの利用状況	18
(2) サービスの支給決定内容の満足度	18
(3) 障害程度区分の認定状況	19
(4) 今後、充実を希望するサービス	20
5. 自立支援医療などについて	22
(1) 自立支援医療の利用状況	22
(2) 医療的ケアの必要性	22
6. 権利擁護について	23
(1) 障害者虐待防止法の認知度	23
(2) 障害者虐待防止センターの認知度	23
(3) 成年後見制度の認知度	24
(4) 障害者相談支援事業所の認知度	24
7. 区に対する要望などについて	25
(1) 災害時に必要とするもの	25
(2) 地域で安心して暮らすために重要と思う施策	26



# 第1章 調査の概要

## 1. 調査の目的

本調査は、障害者（児）の生活実態及び要望等を把握し、「第4期台東区障害福祉計画」（平成27年度～29年度）を策定するための基礎資料とすることを目的とする。

## 2. 調査の概要

### (1) 調査対象者及び対象者数

区分	対象	抽出方法	対象者数
身体障害者	身体障害者手帳所持者	無作為抽出	615人
知的障害者	療育手帳（愛の手帳）所持者	無作為抽出	85人
精神障害者	障害福祉サービス受給者及び自立支援医療受給者	無作為抽出	240人
難病患者	難病医療費等助成の受給者（障害者手帳非所持者）	無作為抽出	70人
その他	障害者手帳を所持していない障害児通所支援利用者	無作為抽出	10人
区外	施設入所者	無作為抽出	70人
合計			1,090人

### (2) 調査方法

郵送配付、郵送回収（無記名）

ただし、対象者の約1割は職員による訪問配付・回収

### (3) 調査期間

平成25年9月10日～10月4日

### (4) 調査票回収数及び回収率

A：対象者数	B：回収数	C：回収率 ( $B/A \times 100$ )
1,090人	769人	70.6%

### 3. 報告書の見方

#### ○百分率について

百分率(%)は、すべて小数点以下第2位を四捨五入した数値であるため、合計が100%にならない場合がある。

#### ○図表の単位について

本文中に掲載した図表の単位は、特にことわりのない限り、「%」であらわしている。

#### ○単純集計及び分析について

質問ごとに「単純集計」を行い、その特徴等を記述している。

単純集計のグラフにおいては、傾向をよりわかりやすくするために、選択肢を百分率(%)の大きなものから小さなものへと並びかえた「ランキング集計」を行っている場合がある。

#### ○クロス集計※及び分析について

各調査の対象者全員の合計を「全体」と表記し、特徴的なものについては、障害別を分析の柱とするクロス集計表を掲載し、分析を行っている。

分析の柱である障害別は複数回答項目であり、クロス集計表においては分析の柱となる項目の「無回答」の掲載を省略している。そのため、分析軸(タテ軸)の回答者数の合計値と「全体」の数値は一致しない。

また、クロス集計表においては、傾向をよりわかりやすくするために、もっとも割合の高い選択肢の数値を太字・斜体になっている。

※クロス集計とは、例えば障害別の年齢(3ページ)など、2つの項目に着目してデータの集計や分析を行うこと。

## 第2章 調査結果

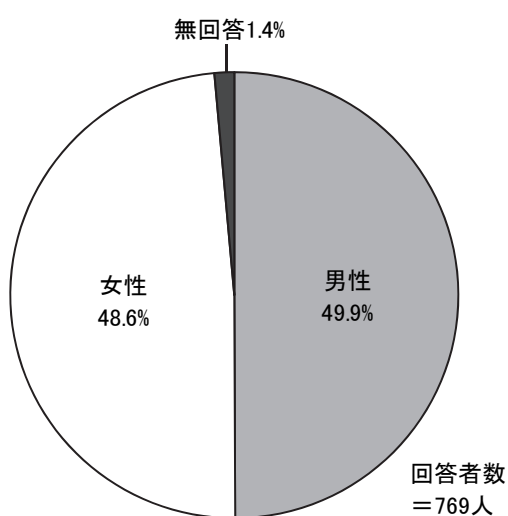
### 1. 基本的属性

#### (1) 性別、年齢

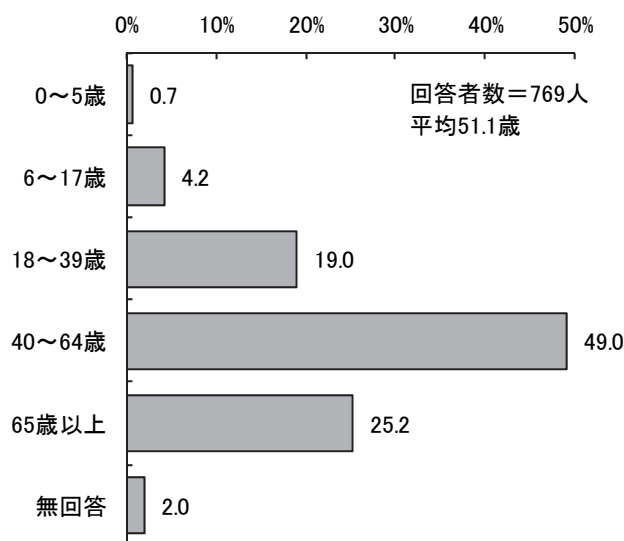
性別は、「男性」49.9%、「女性」48.6%であり、ほぼ半々となっている。

年齢は、「40～64歳」が49.0%と約半数を占める。次いで、「65歳以上」が25.2%、「18～39歳」19.0%であり、平均年齢は51.1歳となっている。

図表1 性別(単数回答)



図表2 年齢(単数回答)



#### <障害別にみたポイント>

- ・その他を除くと、どの障害の人も「40～64歳」の年齢層の割合がもっとも高い。
- ・平均年齢は、身体障害者及び難病医療費等助成利用者は50歳代、精神障害者は40歳代、知的障害者は30歳代。

図表3 性別・年齢(障害別)

(単位: %)

障害別	回答者数(人)	男性	女性	無回答	0	6	18	40	65	無回答	平均年齢(歳)	
					～5歳	～17歳	～39歳	～64歳	歳以上			
全体	769	<b>49.9</b>	48.6	1.4	0.7	4.2	19.0	<b>49.0</b>	25.2	2.0	51.1	
障害別	身体障害者	475	<b>50.1</b>	48.8	1.1	0.4	2.9	12.6	<b>50.1</b>	32.6	1.3	54.9
	知的障害者	134	<b>58.2</b>	41.8	0.0	2.2	11.2	32.8	<b>48.5</b>	3.7	1.5	38.7
	精神障害者	160	46.9	<b>52.5</b>	0.6	0.0	1.3	26.9	<b>57.5</b>	13.1	1.3	48.1
	難病医療費等助成利用者	96	46.9	<b>52.1</b>	1.0	0.0	1.0	26.0	<b>49.0</b>	22.9	1.0	51.0
	その他	4	<b>50.0</b>	25.0	25.0	25.0	<b>75.0</b>	0.0	0.0	0.0	0.0	5.5

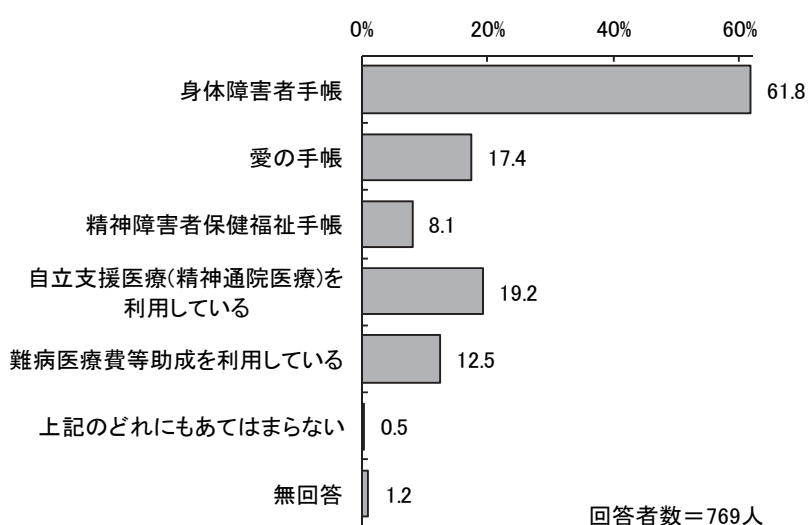
## (2) 障害の種類と程度

### ① 所持している障害者手帳等

所持している障害者手帳は、「身体障害者手帳」61.8%、「愛の手帳」17.4%、「精神障害者保健福祉手帳」8.1%となっている。また、「自立支援医療（精神通院医療）を利用している」は19.2%であり、精神障害者保健福祉手帳を所持または自立支援医療（精神通院医療）を利用している精神障害者の割合は全体の20.8%である。

「難病医療費等助成を利用している」は12.5%、「上記のどれにもあてはまらない」（障害者手帳を所持していない障害児通所支援利用者）は0.5%となっている。

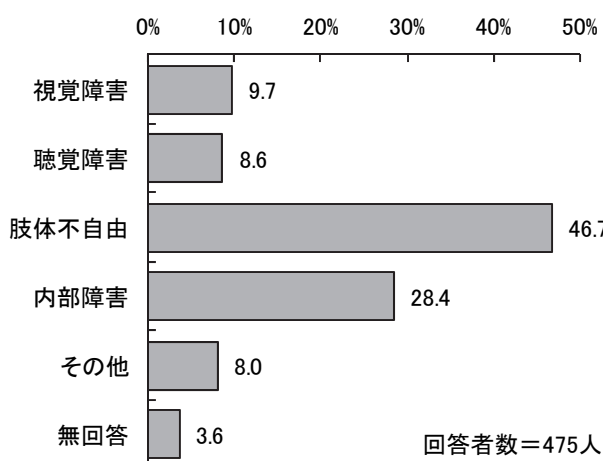
図表4 所持している障害者手帳等（複数回答）



### ② 身体障害者の障害の種類

身体障害の種類は、「肢体不自由」46.7%、「内部障害」28.4%、「視覚障害」9.7%、「聴覚障害」8.6%の順となっている。

図表5 身体障害の種類（複数回答）





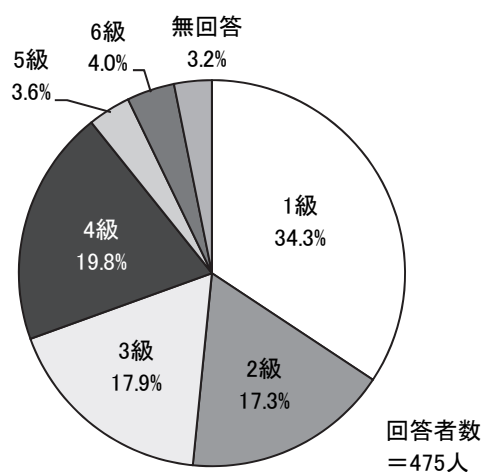
### ③障害の程度

身体障害者手帳の程度は、「1級」が34.3%ともっとも高く、次いで「4級」19.8%、「3級」17.9%、「2級」17.3%の順となっている。

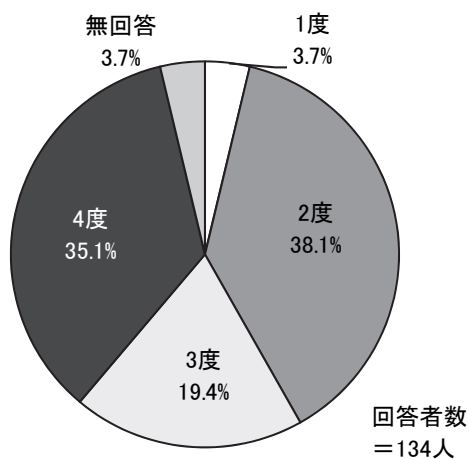
愛の手帳の程度は、「2度」38.1%、「4度」35.1%、「3度」19.4%、「1度」3.7%の順となっている。

精神障害者保健福祉手帳の程度は、「2級」が64.5%を占め、「3級」24.2%、「1級」4.8%となっている。

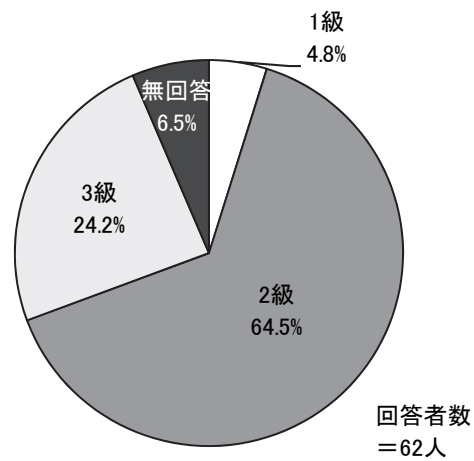
図表6 身体障害者手帳の程度(単数回答)



図表7 愛の手帳の程度(単数回答)



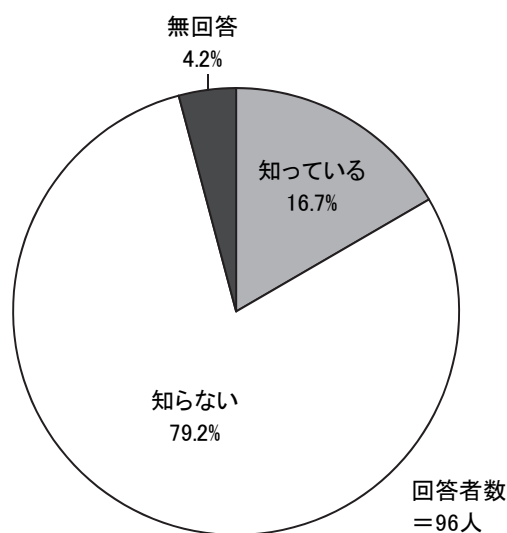
図表8 精神障害者保健福祉手帳の程度(単数回答)



### (3) 難病等の方が障害福祉サービス等の対象に加わったことの認知度

難病医療費等助成利用者に、難病等の方が障害福祉サービス等の対象に加わったことについてたずねたところ、「知っている」は16.7%であり、「知らない」が79.2%と約8割を占めている。

図表9 難病等の方が障害福祉サービス等の対象に加わったことの認知度(単数回答)

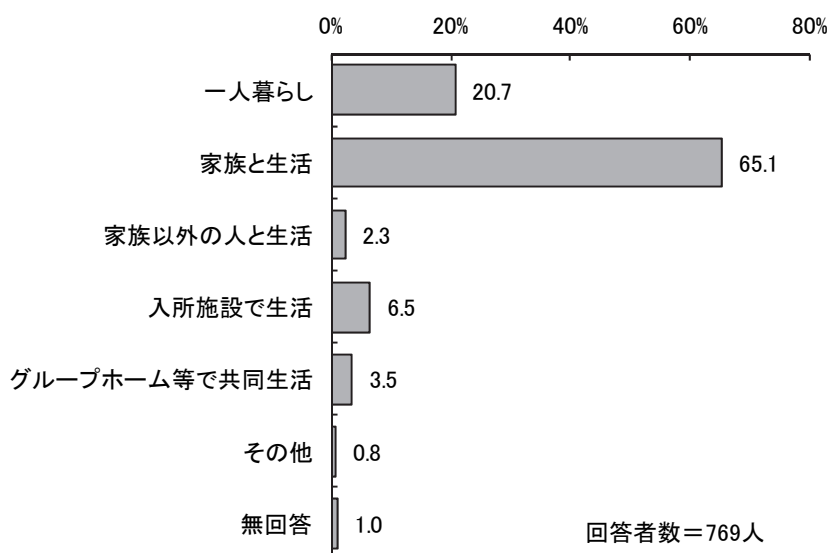


## 2. 暮らし方について

### (1)現在の暮らし方

現在の暮らし方は、「家族と生活」65.1%がもっとも高い。次いで、「一人暮らし」20.7%、「入所施設で生活」6.5%、「グループホーム等で共同生活」3.5%、「家族以外の人と生活」2.3%となっている。

図表10 現在の暮らし方(単数回答)



### <障害別にみたポイント>

- ・身体障害者及び精神障害者は「家族と生活」が6割台、難病医療費等助成利用者は8割台を占める。
- ・知的障害者は「家族と生活」が4割台。施設等（入所施設・グループホーム等）での生活者が半数近い。

図表11 現在の暮らし方(障害別)

(単位:%)

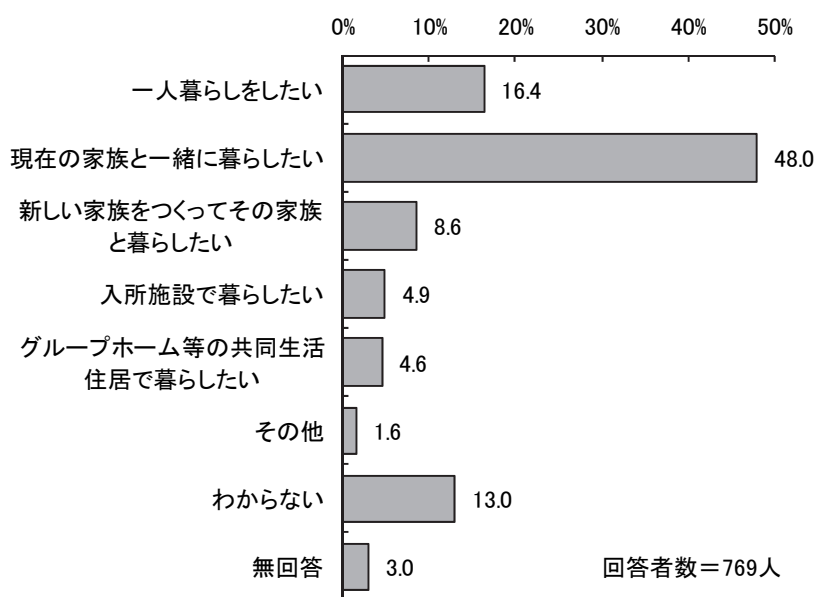
		回答者数(人)	一人暮らし	家族と生活	生活 家族以外の人と	入所施設で生活	グループホーム 等で共同生活	その他	無回答
全体		769	20.7	<b>65.1</b>	2.3	6.5	3.5	0.8	1.0
障害別	身体障害者	475	23.8	<b>68.0</b>	3.4	3.2	0.4	1.1	0.2
	知的障害者	134	3.7	<b>46.3</b>	0.0	31.3	17.2	0.7	0.7
	精神障害者	160	28.1	<b>61.3</b>	1.9	3.8	3.8	0.0	1.3
	難病医療費等助成利用者	96	14.6	<b>81.3</b>	2.1	1.0	0.0	1.0	0.0
	その他	4	0.0	<b>100.0</b>	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## (2) 将来希望する暮らし方

将来希望する暮らし方は、「現在の家族と一緒に暮らしたい」が48.0%と半数近くを占めるのに次いで、「一人暮らしをしたい」16.4%、「新しい家族をつくってその家族と暮らしたい」8.6%、「入所施設で暮らしたい」4.9%、「グループホーム等の共同生活住居で暮らしたい」4.6%の順となっている。

現状（7ページ）と比較すると、入所施設を希望する割合は1.6ポイント減少し、グループホーム等の共同生活を希望する割合は1.1ポイント増加している。

図表12 将来希望する暮らし方(単数回答)



<障害別にみたポイント>

- ・身体障害者及び難病医療費等助成利用者は 5 割以上が「現在の家族と一緒に暮らしたい」。
- ・知的障害者は「現在の家族と一緒に暮らしたい」が約 3 割。「グループホーム等の共同生活住居で暮らしたい」20.9%、「入所施設で暮らしたい」17.2%。
- ・精神障害者は「現在の家族と一緒に暮らしたい」35.6%に次いで、「一人暮らしをした

図表13 将来希望する暮らし方(障害別)

(単位:%)

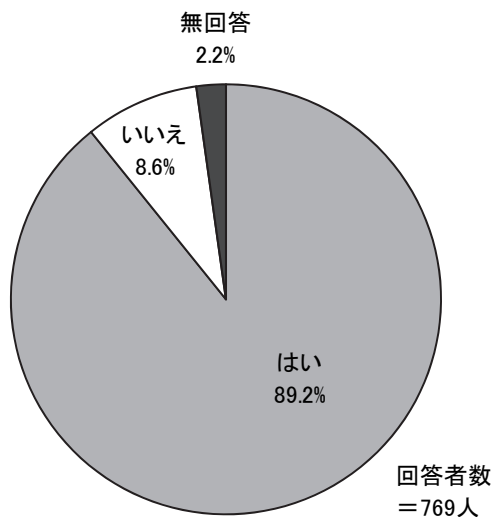
		回答者数(人)	一人暮らしをしたい	現在の家族と一緒に暮らしたい	新しい家族をつくってその家族と暮らしたい	入所施設で暮らしたい	グループホーム等の共同生活住居で暮らしたい	その他	わからない	無回答
全体		769	16.4	<b>48.0</b>	8.6	4.9	4.6	1.6	13.0	3.0
障害別	身体障害者	475	16.6	<b>53.7</b>	8.0	3.2	1.3	1.5	13.3	2.5
	知的障害者	134	9.0	<b>29.9</b>	3.7	17.2	20.9	2.2	14.2	3.0
	精神障害者	160	25.6	<b>35.6</b>	13.8	2.5	3.1	1.3	14.4	3.8
	難病医療費等助成利用者	96	11.5	<b>62.5</b>	9.4	1.0	3.1	1.0	9.4	2.1
	その他	4	0.0	<b>50.0</b>	0.0	0.0	0.0	0.0	<b>50.0</b>	0.0

### (3)現在の居住地と将来希望する居住地

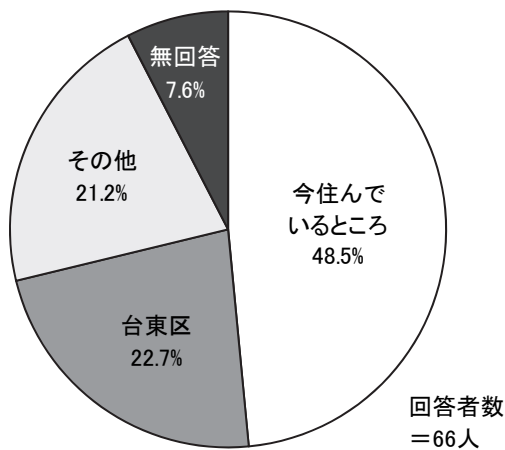
現在の居住地は、台東区内である人（「はい」と回答）が89.2%と約9割を占め、台東区外の人（「いいえ」と回答）は8.6%となっている。

台東区外に居住している人が将来希望する居住地をみると、「今住んでいるところ」は48.5%であり、「台東区」を22.7%が希望している。

図表14 現在の居住地(単数回答)



図表15 将来希望する居住地(単数回答)

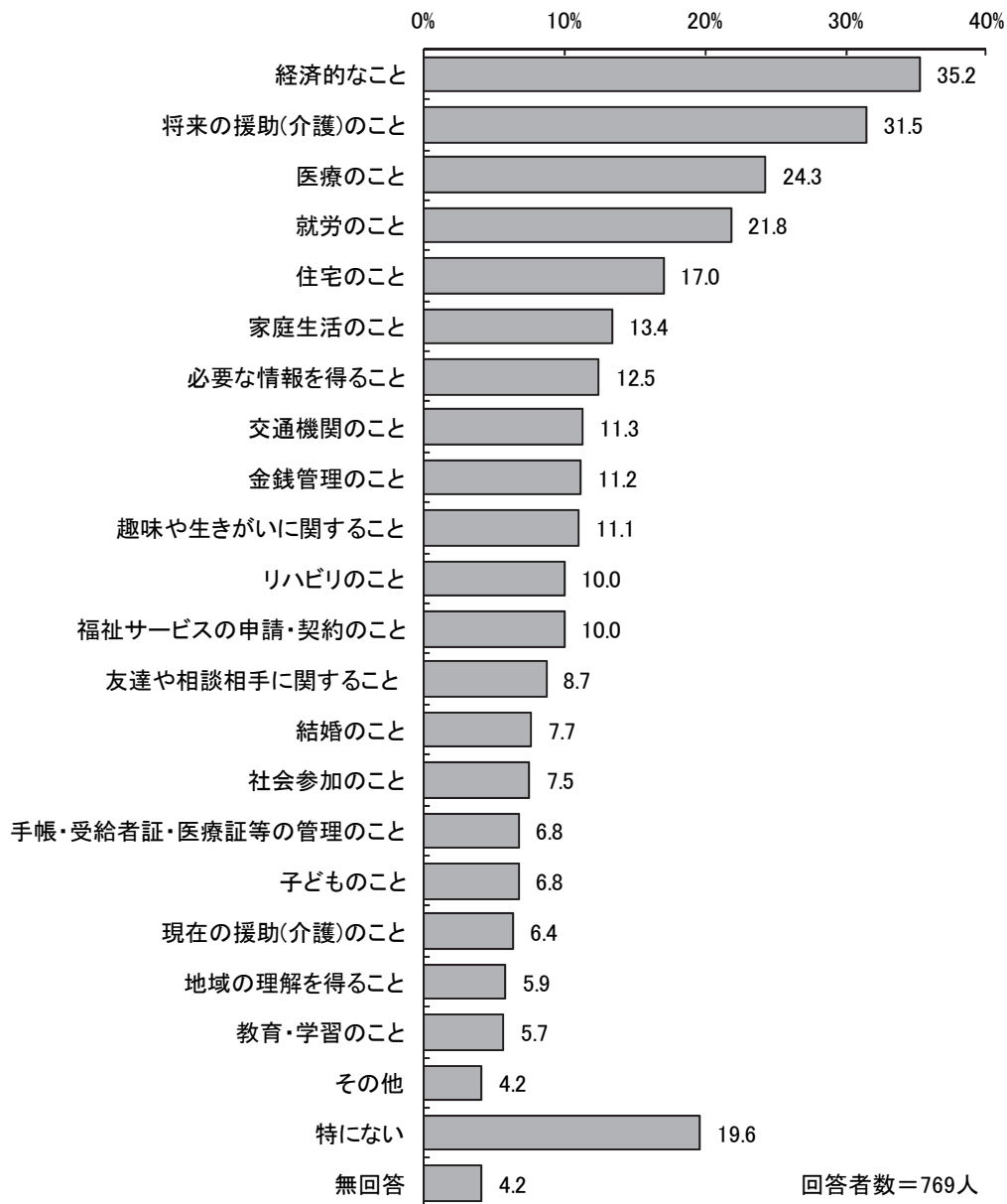


### 3. 日常生活について

#### (1)生活の中での悩みごと

生活の中での悩みごとは、「経済的なこと」35.2%、「将来の援助（介護）のこと」31.5%が上位2位であり、3割以上からあげられている。次いで、「医療のこと」24.3%、「就労のこと」21.8%、「住宅のこと」17.0%の順で続いている。

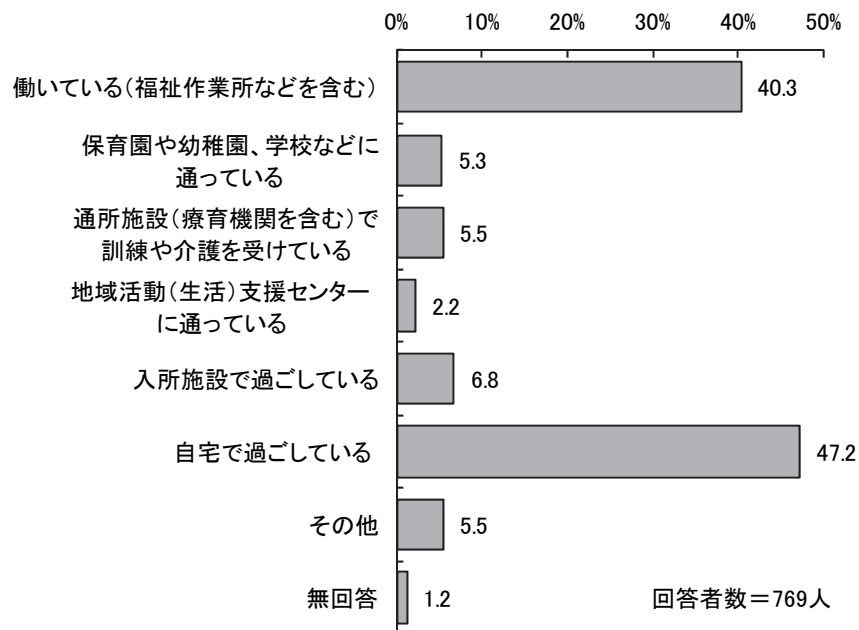
図表16 生活の中での悩みごと(複数回答)



## (2) 現在の日中の過ごし方

現在の日中の過ごし方は、「自宅で過ごしている」がもっとも高く 47.2%と半数近い。次いで「働いている（福祉作業所などを含む）」40.3%が続いている。このほか「入所施設で過ごしている」6.8%、「通所施設（療育機関を含む）で訓練や介護を受けている」5.5%、「保育園や幼稚園、学校などに通っている」5.3%、「地域活動（生活）支援センターに通っている」2.2%となっている。

図表17 現在の日中の過ごし方（複数回答）





<障害別にみたポイント>

- ・身体障害者及び精神障害者は「自宅で過ごしている」が5割台、「働いている（福祉作業所などを含む）」が3割台。
- ・難病医療費等助成利用者は「働いている（福祉作業所などを含む）」53.1%、「自宅で過ごしている」45.8%。他の障害に比べて働いている人の割合が高い。
- ・知的障害者は「働いている（福祉作業所などを含む）」38.8%に次いで、「入所施設で過ごしている」が31.3%。

図表18 現在の日中の過ごし方(障害別)

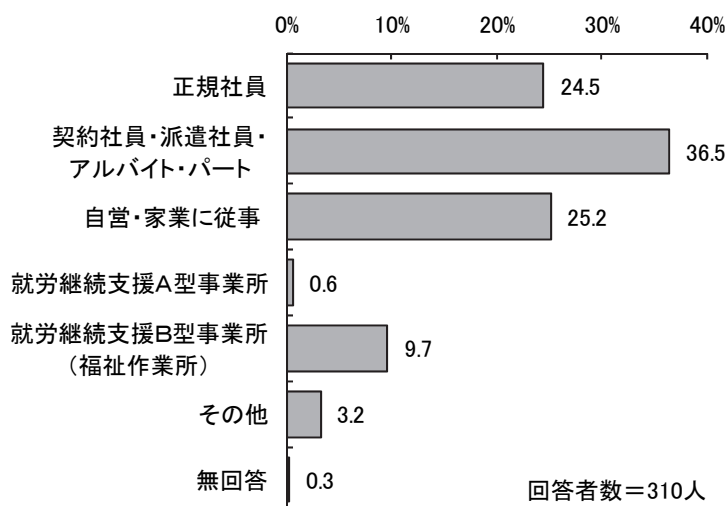
(単位:%)

		回答者数(人)	働いている(福祉作業所などを含む)	保育園や幼稚園、学校などに通っている	通所施設(療育機関を含む)で訓練や介護を受けている	地域活動(生活)支援センターに通っている	入所施設で過ごしている	自宅で過ごしている	その他	無回答
全体		769	40.3	5.3	5.5	2.2	6.8	<b>47.2</b>	5.5	1.2
障害別	身体障害者	475	39.8	3.4	5.3	1.3	3.2	<b>53.9</b>	6.3	1.5
	知的障害者	134	<b>38.8</b>	12.7	11.2	2.2	31.3	8.2	2.2	0.0
	精神障害者	160	34.4	2.5	4.4	5.6	4.4	<b>58.8</b>	5.6	0.6
	難病医療費等助成利用者	96	<b>53.1</b>	2.1	4.2	2.1	1.0	45.8	5.2	1.0
	その他	4	0.0	<b>100.0</b>	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

### (3) 就労状況

働いている人の働き方は、「契約社員・派遣社員・アルバイト・パート」36.5%、「自営・家業に従事」25.2%、「正規社員」24.5%の順であり、これらをあわせた一般就労者の割合が86.2%を占める。「就労継続支援B型事業所（福祉作業所）」は9.7%、「就労継続支援A型事業所」は0.6%となっている。

図表19 働き方(単数回答)



#### <障害別にみたポイント>

- ・ 一般就労者の割合（「正規社員」＋「契約社員・派遣社員・アルバイト・パート」＋「自営・家業に従事」）は、身体障害者と難病医療費等助成利用者は9割を超え、知的障害者は57.7%、精神障害者72.7%である。
- ・ 知的障害者及び精神障害者は「契約社員・派遣社員・アルバイト・パート」が4割台で、「就労継続支援B型事業所（福祉作業所）」が知的障害者36.5%、精神障害者21.8%。

図表20 働き方(障害別)

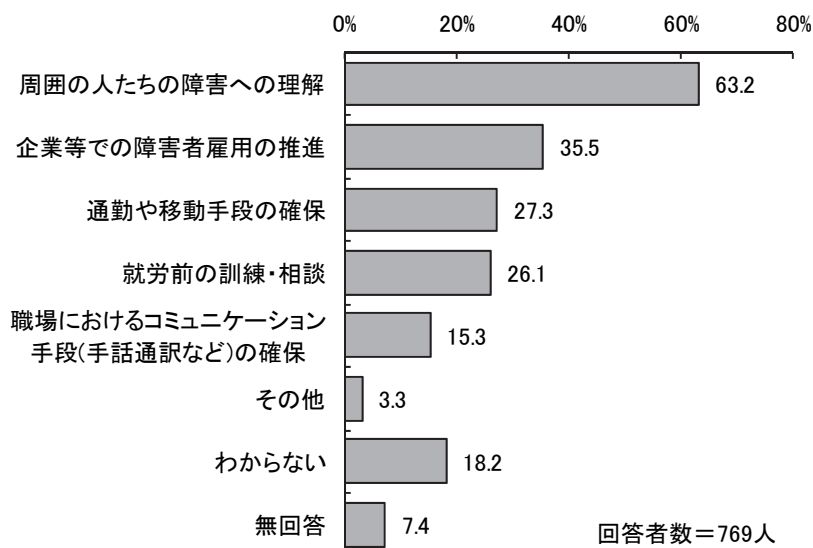
(単位: %)

		回答者数(人)	正規社員	アルバイト・パート 契約社員・派遣社員	自営・家業に従事	業所 就労継続支援A型事	業所(福祉作業所) 就労継続支援B型事	その他	無回答
全体		310	24.5	<b>36.5</b>	25.2	0.6	9.7	3.2	0.3
障害別	身体障害者	189	29.6	<b>33.9</b>	29.6	0.0	3.7	2.6	0.5
	知的障害者	52	9.6	<b>40.4</b>	7.7	0.0	36.5	5.8	0.0
	精神障害者	55	14.5	<b>41.8</b>	16.4	3.6	21.8	1.8	0.0
	難病医療費等助成利用者	51	<b>41.2</b>	31.4	23.5	0.0	0.0	3.9	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

#### (4)働きやすい環境にするために必要なこと

働きやすい環境にするために必要なこととしては、「周囲の人たちの障害への理解」63.2%がもっとも高い。次いで、「企業等での障害者雇用の推進」35.5%、「通勤や移動手段の確保」27.3%の順となっている。

図表21 働きやすい環境にするために必要なこと(複数回答)



#### <障害別にみたポイント>

- ・ どの障害の人も「周囲の人たちの障害への理解」が第1位。
- ・ 第2位は、身体障害者及び難病医療費等助成利用者は「企業等での障害者雇用の推進」。知的障害者と精神障害者は「就労前の訓練・相談」。

図表22 働きやすい環境にするために必要なこと(障害別) (単位:%)

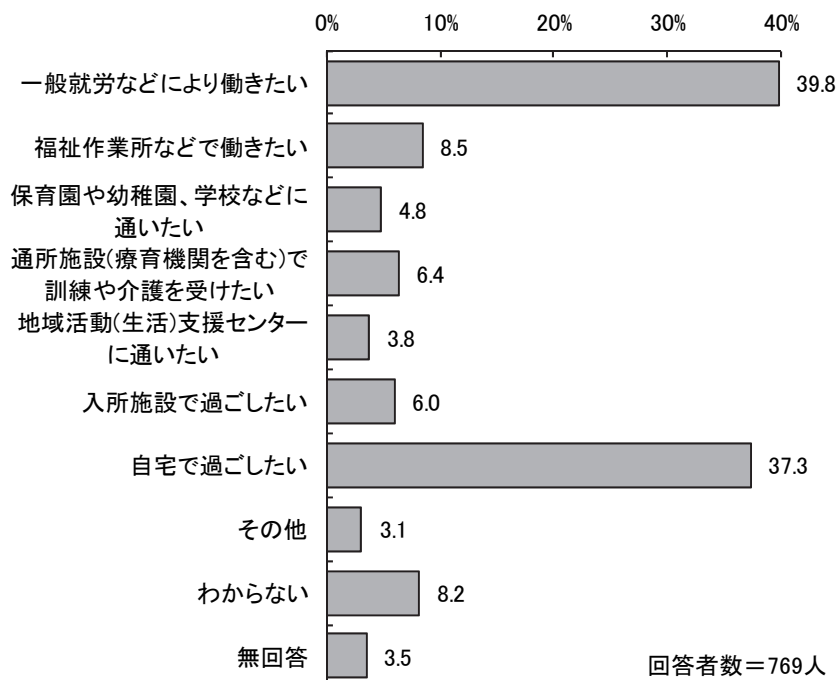
		回答者数(人)	周囲の人たちの障害への理解	企業等での障害者雇用の推進	通勤や移動手段の確保	就労前の訓練・相談	職場におけるコミュニケーション手段(手話通訳など)の確保	その他	わからない	無回答
全体		769	<b>63.2</b>	35.5	27.3	26.1	15.3	3.3	18.2	7.4
障害別	身体障害者	475	<b>62.9</b>	38.7	30.7	22.7	15.4	3.8	15.8	8.6
	知的障害者	134	<b>64.2</b>	33.6	28.4	36.6	22.4	0.0	23.9	6.7
	精神障害者	160	<b>56.9</b>	26.3	13.8	30.6	9.4	2.5	25.0	8.1
	難病医療費等助成利用者	96	<b>61.5</b>	33.3	30.2	21.9	14.6	4.2	14.6	10.4
	その他	4	<b>100.0</b>	75.0	50.0	<b>100.0</b>	50.0	0.0	0.0	0.0

### (5) 希望する日中の過ごし方

希望する日中の過ごし方としては、「一般就労などにより働きたい」39.8%、「福祉作業所などで働きたい」8.5%となっている。このどちらかに○をした、『働きたい』との意向を示した人の割合は46.0%であり（複数回答であるため合算値とは一致しない）、現状40.3%（12ページ）を5.7ポイント上回っている。

「自宅で過ごしたい」は37.3%であり、現状を9.9ポイント下回る結果となった。

図表23 希望する日中の過ごし方(複数回答)



<障害別にみたポイント>

- ・身体障害者は「自宅で過ごしたい」、知的障害者、精神障害者及び難病医療費等助成利用者は「一般就労などにより働きたい」との意向がそれぞれもっとも高い。
- ・『働きたい』と回答した人の割合は、知的障害者の 44.0%、精神障害者の 52.5%。現状（13 ページ）をそれぞれ 5.2 ポイント、18.1 ポイント上回った。
- ・知的障害者は「入所施設で過ごしたい」が 22.4%。現状と比較すると 8.9 ポイント低い。

図表24 希望する日中の過ごし方(障害別)

(単位:%)

		回答者数(人)	一般就労などにより働きたい	福祉作業所などで働きたい	通園や幼稚園、学校などに通いたい	通所施設(療育機関を含む)で訓練や介護を受けたい	地域活動(生活支援センター)に通いたい	入所施設で過ごしたい	自宅で過ごしたい	その他	わからない	無回答	『働きたい』
全体		769	<b>39.8</b>	8.5	4.8	6.4	3.8	6.0	37.3	3.1	8.2	3.5	46.0
障害別	身体障害者	475	38.9	5.5	2.5	4.8	3.2	3.2	<b>42.5</b>	3.2	7.6	4.6	42.7
	知的障害者	134	<b>23.9</b>	22.4	11.2	17.2	6.7	22.4	14.9	0.7	9.7	3.0	44.0
	精神障害者	160	<b>46.9</b>	9.4	4.4	6.3	3.8	5.0	36.9	3.1	10.6	1.9	52.5
	難病医療費等助成利用者	96	<b>52.1</b>	4.2	3.1	4.2	5.2	4.2	38.5	4.2	6.3	1.0	55.2
	その他	4	0.0	0.0	<b>75.0</b>	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0

※『働きたい』は、「一般就労などにより働きたい」「福祉作業所などで働きたい」のどちらかに○をした人の割合(複数回答であるため合算値とは一致しない)

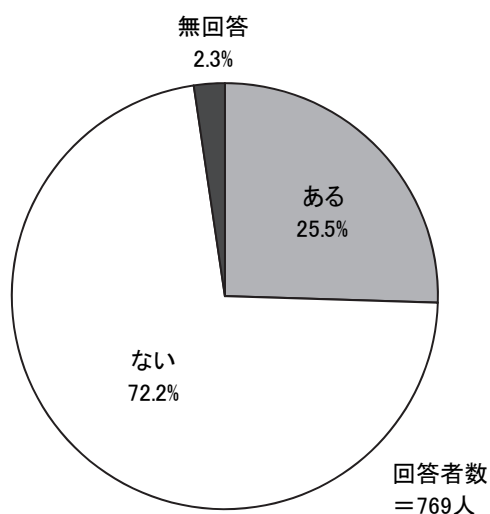
## 4. 障害福祉サービスについて

### (1) 障害福祉サービスの利用状況

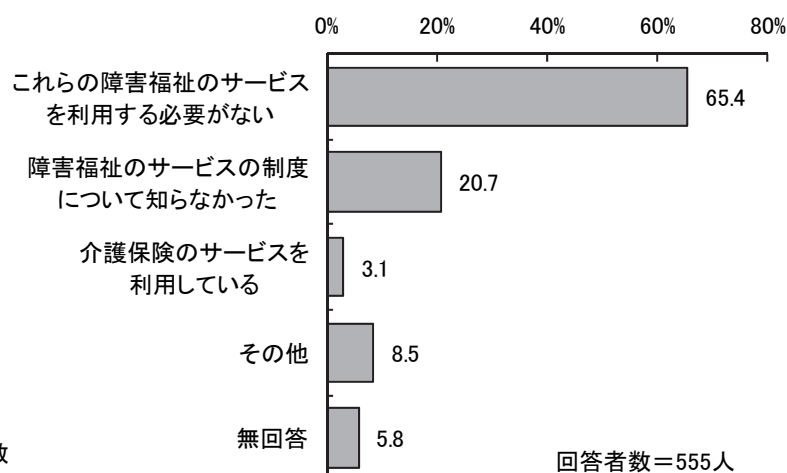
障害福祉サービスの利用状況について、「ある」は25.5%であり、おおよそ4人に1人が利用していると回答している。

「ない」(72.2%)と回答した人のサービスを利用していない理由としては、「これらの障害福祉のサービスを利用する必要がない」が65.4%、次いで「障害福祉のサービスの制度について知らなかった」20.7%となっている。

図表25 障害福祉サービスの利用状況(単数回答)



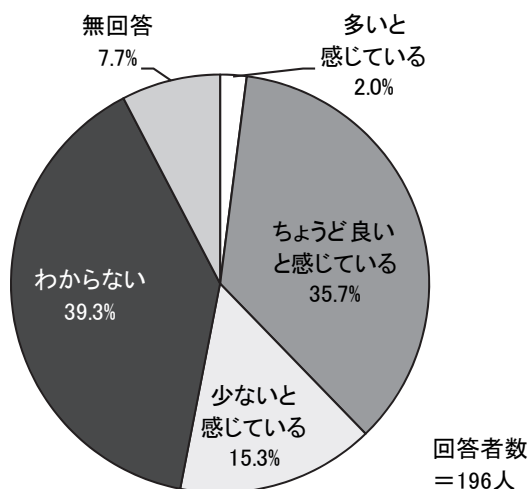
図表26 利用していない理由(複数回答)



### (2) サービスの支給決定内容の満足度

サービスの支給決定内容(量)について「ちょうど良いと感じている」は35.7%であり、「少ないと感じている」は15.3%である。

図表27 サービスの支給決定内容の満足度(単数回答)

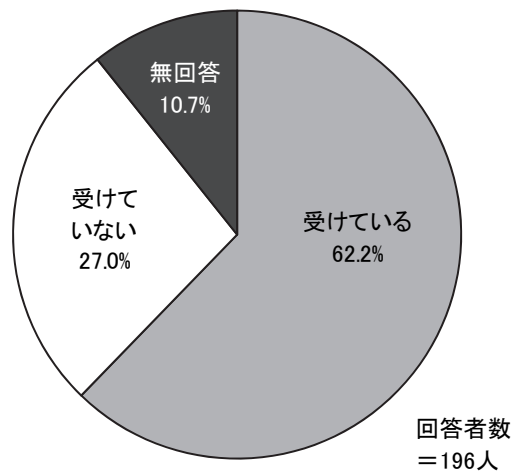


### (3)障害程度区分の認定状況

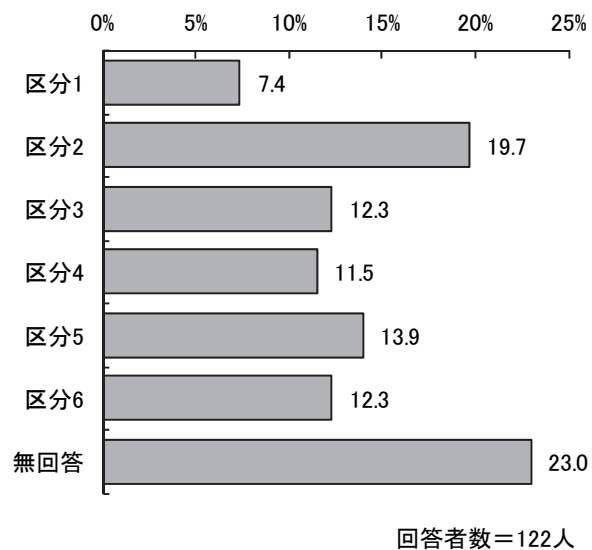
障害程度区分の認定については、「受けている」が 62.2%、「受けていない」が 27.0%となっている。

障害程度区分の認定を受けている場合の区分は、「区分 2」19.7%、「区分 5」13.9%、「区分 3」「区分 6」各 12.3%、「区分 4」11.5%、「区分 1」7.4%の順となっている。

図表28 障害程度区分の認定状況(単数回答)



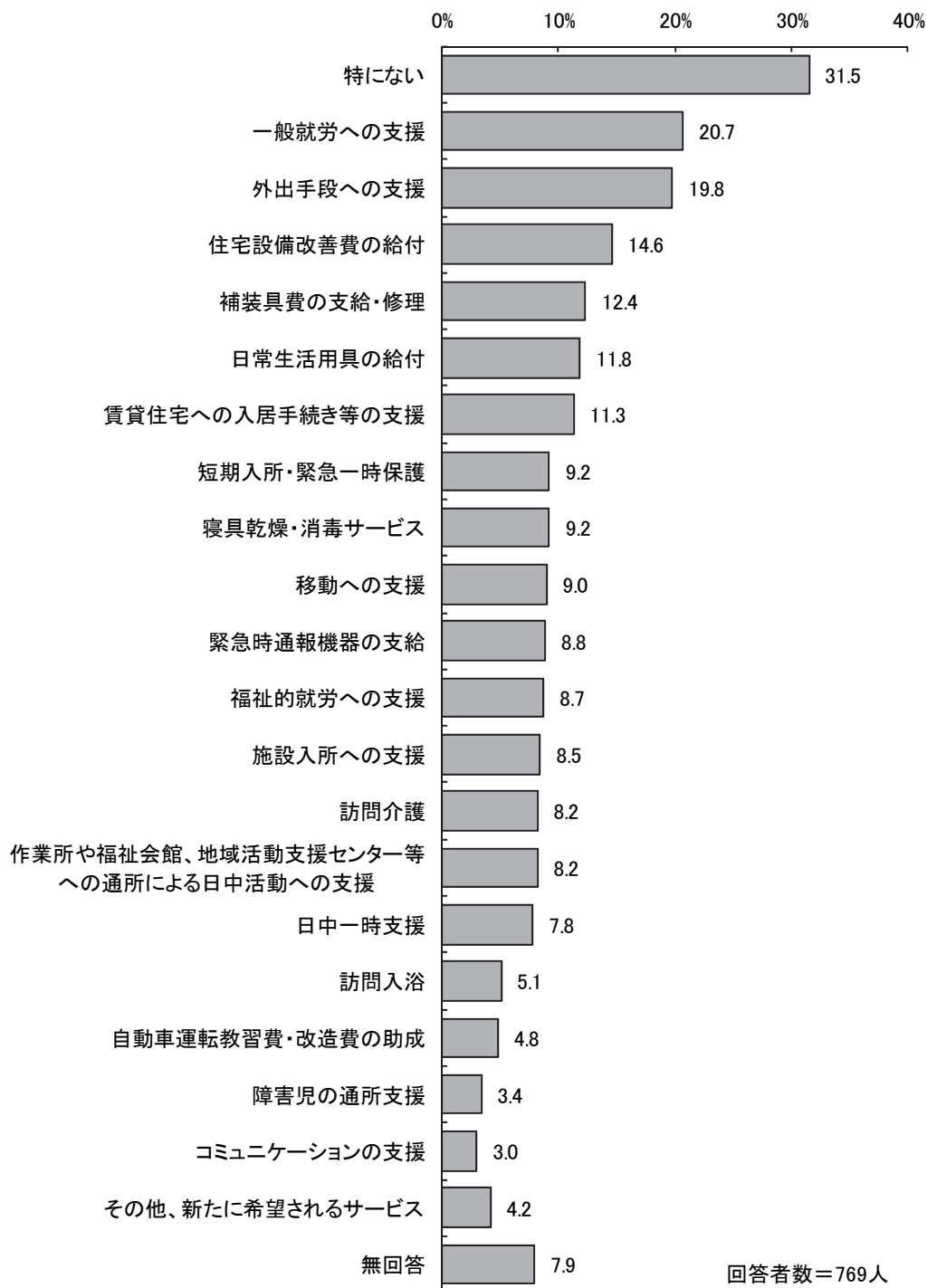
図表29 障害程度区分(単数回答)



#### (4) 今後、充実を希望するサービス

今後、充実を希望するサービスとしては、「特にない」が31.5%であり、次いで「一般就労への支援」20.7%、「外出手段への支援」19.8%、「住宅設備改善費の給付」14.6%、「補装具費の支給・修理」12.4%となっている。

図表30 今後、充実を希望するサービス(複数回答)





<障害別にみたポイント>

「特にない」を除いた上位2位

- ・身体障害者は「外出手段への支援」「補装具費の支給・修理」。
- ・知的障害者は「施設入所への支援」「福祉的就労への支援」「作業所や福祉会館、地域活動支援センター等への通所による日中活動への支援」。
- ・精神障害者は「一般就労への支援」「賃貸住宅への入居手続き等の支援」。
- ・難病医療費等助成利用者は「外出手段への支援」「一般就労への支援」。

図表31 今後、充実を希望するサービス(障害別)

(単位:%)

		回答者数(人)	特にない	一般就労への支援	外出手段への支援	住宅設備改善費の給付	補装具費の支給・修理	日常生活用具の給付	賃貸住宅への入居手続き等の支援	短期入所・緊急一時保護	寝具乾燥・消毒サービス	移動への支援	緊急時通報機器の支給
全体		769	<b>31.5</b>	20.7	19.8	14.6	12.4	11.8	11.3	9.2	9.2	9.0	8.8
障害別	身体障害者	475	<b>29.1</b>	18.1	25.9	18.1	19.2	16.8	10.7	7.6	10.5	8.0	10.9
	知的障害者	134	<b>25.4</b>	18.7	14.9	10.4	6.7	8.2	7.5	19.4	6.7	19.4	5.2
	精神障害者	160	<b>33.1</b>	30.0	6.9	10.6	3.1	6.3	16.3	10.0	8.8	6.9	5.0
	難病医療費等助成利用者	96	<b>40.6</b>	21.9	25.0	14.6	9.4	9.4	8.3	7.3	11.5	7.3	8.3
	その他	4	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

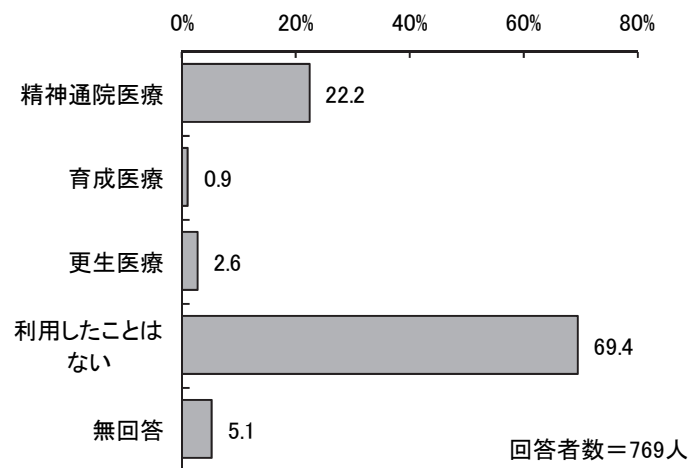
		回答者数(人)	福祉的就労への支援	施設入所への支援	訪問介護	作業所や福祉会館、地域活動支援センター等への通所による日中活動への支援	日中一時支援	訪問入浴	自動車運転教習費・改造費の助成	障害児の通所支援	コミュニケーションの支援	その他、新たに希望されるサービス	無回答
全体		769	8.7	8.5	8.2	8.2	7.8	5.1	4.8	3.4	3.0	4.2	7.9
障害別	身体障害者	475	6.5	5.9	9.1	5.3	6.5	6.3	6.5	2.1	4.4	3.6	7.4
	知的障害者	134	20.1	21.6	6.0	20.1	14.9	6.0	2.2	9.7	1.5	3.0	13.4
	精神障害者	160	10.0	5.6	8.8	10.6	8.1	3.8	1.9	1.3	1.3	3.8	8.1
	難病医療費等助成利用者	96	5.2	5.2	7.3	4.2	7.3	4.2	3.1	1.0	2.1	7.3	5.2
	その他	4	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	<b>75.0</b>	0.0	25.0	0.0

## 5. 自立支援医療などについて

### (1) 自立支援医療の利用状況

自立支援医療の利用状況を見ると、『利用したことがある』人の割合（100%から「利用したことはない」「無回答」を除いた割合）は25.5%、約4人に1人となっている。利用したことがある自立支援医療としては、「精神通院医療」が22.2%、「更生医療」が2.6%、「育成医療」が0.9%となっている。

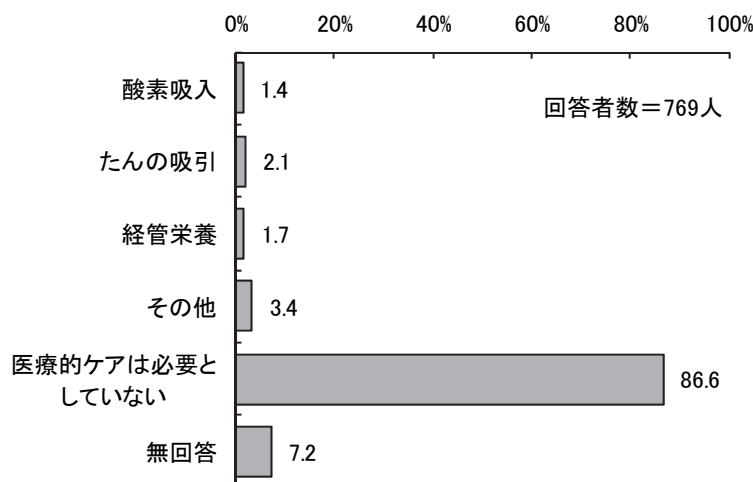
図表32 自立支援医療の利用状況(複数回答)



### (2) 医療的ケアの必要性

医療的ケアの必要性を見ると、『必要としている』人の割合（100%から「医療的ケアは必要としていない」「無回答」を除いた割合）は6.2%となっている。必要とする医療的ケアは、「たんの吸引」2.1%、「経管栄養」1.7%、「酸素吸入」1.4%となっている。

図表33 医療的ケアの必要性(複数回答)

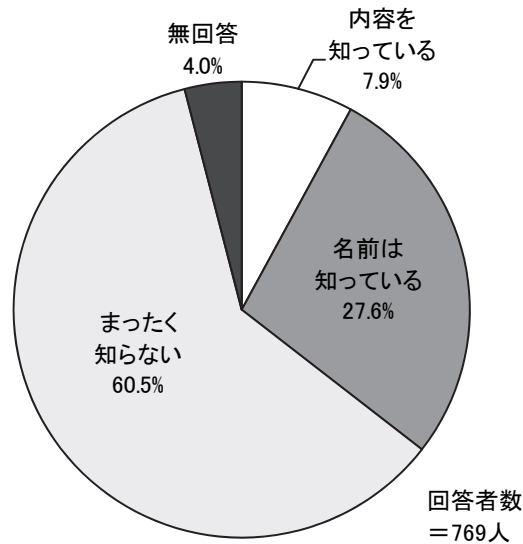


## 6. 権利擁護について

### (1) 障害者虐待防止法の認知度

障害者虐待防止法の認知度は、「まったく知らない」が60.5%と約6割を占める。次いで「名前は知っている」27.6%であり、「内容を知っている」は7.9%と1割を下回った。

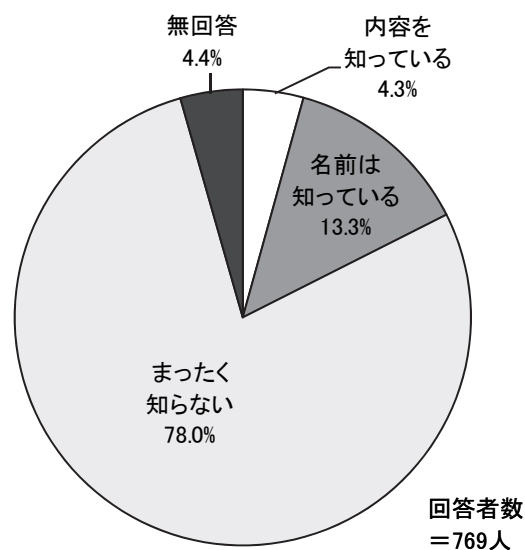
図表34 障害者虐待防止法の認知度(単数回答)



### (2) 障害者虐待防止センターの認知度

障害者虐待防止センターの認知度は、「まったく知らない」が78.0%と8割近い。「内容を知っている」は4.3%、「名前は知っている」は13.3%となっている。

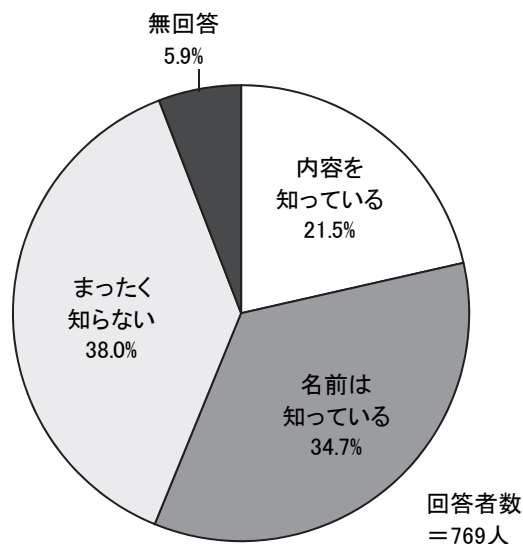
図表35 障害者虐待防止センターの認知度(単数回答)



### (3) 成年後見制度の認知度

成年後見制度の認知度をみると、「まったく知らない」は38.0%、「名前は知っている」は34.7%であり、「内容を知っている」は21.5%と約5人に1人の割合である。

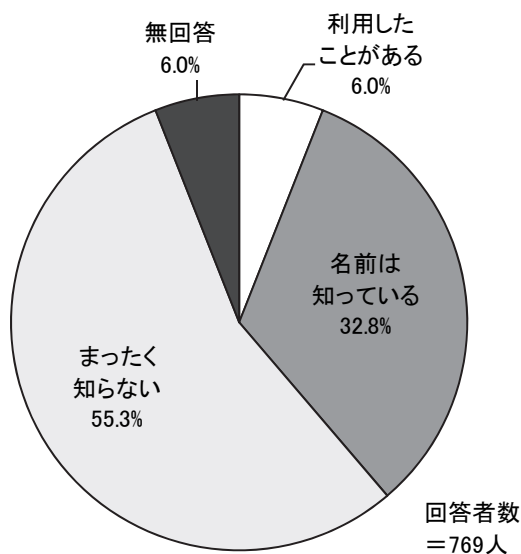
図表36 成年後見制度の認知度(単数回答)



### (4) 障害者相談支援事業所の認知度

障害者相談支援事業所の認知度は、「まったく知らない」が55.3%と過半数を占める。次いで「名前は知っている」32.8%であり、「利用したことがある」は6.0%であった。

図表37 障害者相談支援事業所の認知度(単数回答)

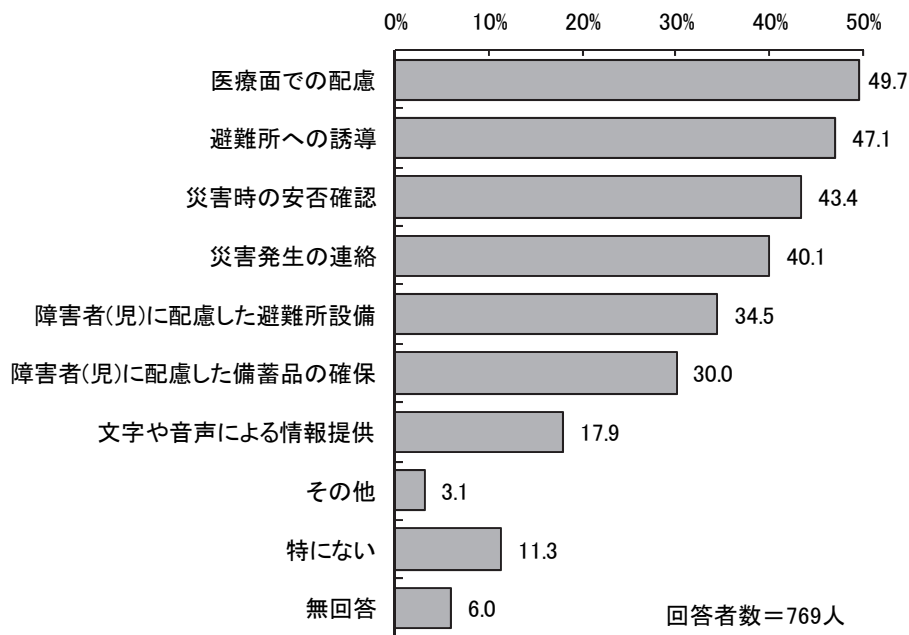


## 7. 区に対する要望などについて

### (1) 災害時に必要とするもの

災害時に必要とするものとしては、「医療面での配慮」49.7%、「避難所への誘導」47.1%、「災害時の安否確認」43.4%が上位3位にあげられている。

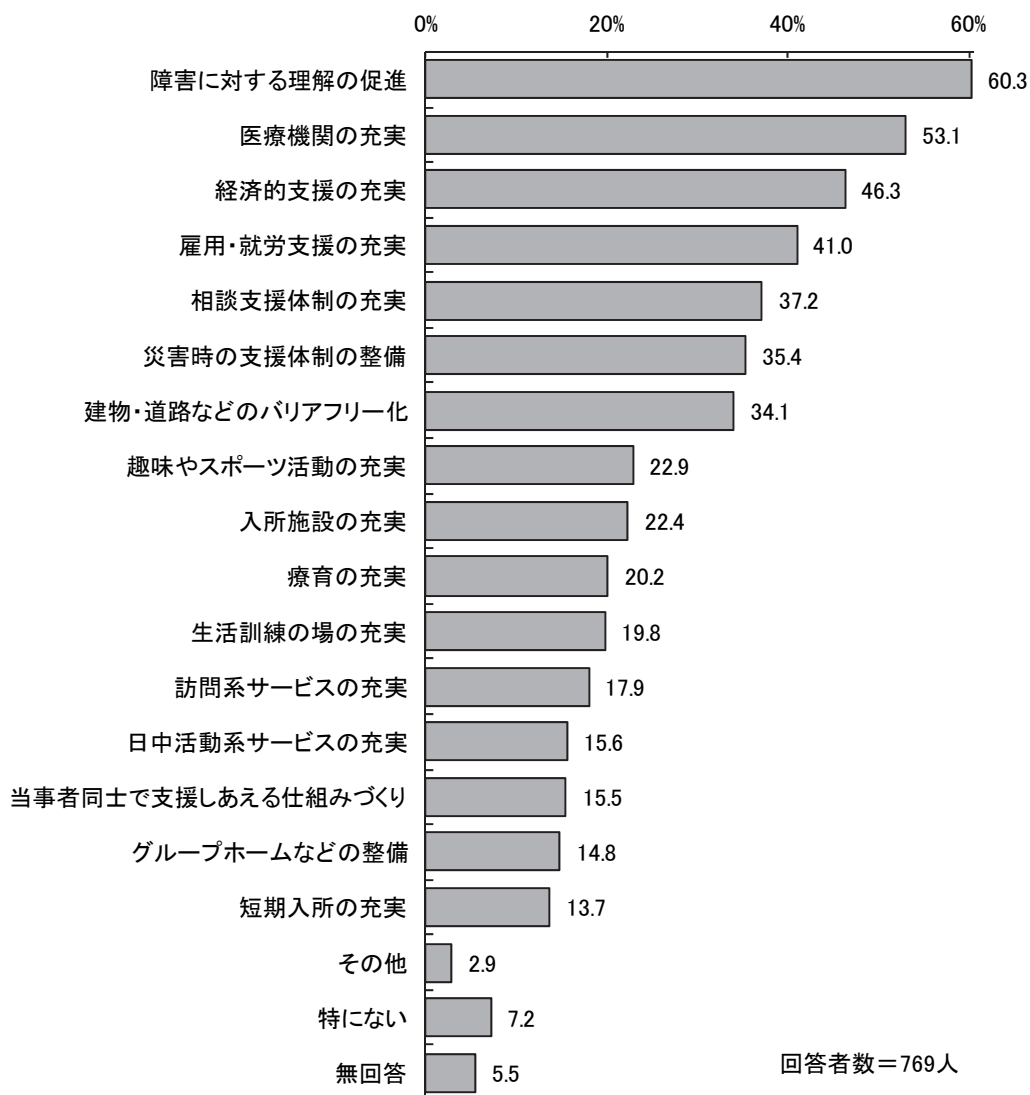
図表38 災害時に必要とするもの(複数回答)



## (2) 地域で安心して暮らすために重要と思う施策

地域で安心して暮らすために重要と思う施策としては、「障害に対する理解の促進」60.3%、「医療機関の充実」53.1%、「経済的支援の充実」46.3%、「雇用・就労支援の充実」41.0%、「相談支援体制の充実」37.2%が上位5位にあげられている。

図表39 地域で安心して暮らすために重要と思う施策(複数回答)



<障害別にみたポイント>

- ・身体障害者、知的障害者及び難病医療費等助成利用者の上位3位は、「障害に対する理解の促進」「医療機関の充実」「経済的支援の充実」。
- ・精神障害者の上位3位は、「障害に対する理解の促進」「医療機関の充実」「相談支援体制の充実」。
- ・身体障害者は「建物・道路などのバリアフリー化」「災害時の支援体制の整備」が、それぞれ他の障害に比べて高い。
- ・知的障害者は「入所施設の充実」「グループホームなどの整備」「日中活動系サービスの充実」などが、それぞれ他の障害に比べて高い。

図表40 地域で安心して暮らすために重要と思う施策(障害別)

(単位:%)

	回答者数(人)	進 障害に対する理解の促進	医療機関の充実	経済的支援の充実	雇用・就労支援の充実	相談支援体制の充実	備 災害時の支援体制の整備	建物・道路などのバリアフリー化	趣味やスポーツ活動の充実	入所施設の充実	療育の充実
全体	769	<b>60.3</b>	53.1	46.3	41.0	37.2	35.4	34.1	22.9	22.4	20.2
障害別	身体障害者	475	<b>58.7</b>	53.9	45.5	38.1	32.8	40.0	40.4	21.1	18.5
	知的障害者	134	<b>59.0</b>	46.3	46.3	38.8	41.8	32.8	24.6	37.3	26.1
	精神障害者	160	<b>63.8</b>	53.8	46.9	45.6	47.5	26.3	20.0	14.4	16.9
	難病医療費等助成利用者	96	<b>64.6</b>	63.5	55.2	46.9	40.6	30.2	37.5	22.9	26.0
	その他	4	<b>100.0</b>	75.0	25.0	75.0	50.0	75.0	50.0	25.0	<b>100.0</b>

	回答者数(人)	生活訓練の場の充実	訪問系サービスの充実	日中活動系サービスの充実	当事者同士で支援しあえる仕組みづくり	グループホームなどの整備	短期入所の充実	その他	特にない	無回答
全体	769	19.8	17.9	15.6	15.5	14.8	13.7	2.9	7.2	5.5
障害別	身体障害者	475	17.7	18.1	13.1	14.1	11.4	12.4	1.3	4.4
	知的障害者	134	27.6	18.7	32.8	17.2	36.6	26.1	7.5	9.7
	精神障害者	160	16.9	18.1	13.1	16.3	8.1	8.8	5.6	4.4
	難病医療費等助成利用者	96	20.8	15.6	12.5	15.6	10.4	14.6	2.1	3.1
	その他	4	75.0	25.0	25.0	50.0	50.0	25.0	25.0	0.0





---

**台東区障害者実態調査 報告書**  
**概要版**

平成 25 年 12 月

発行 台東区福祉部障害福祉課  
〒110-8615 台東区東上野 4-5-6  
TEL 03 (5246) 1206

集計・分析 株式会社 コモン計画研究所  
〒166-0015 杉並区成田東 5-35-15  
THE PLAZA-F 2階  
TEL 03 (3220) 5415

---

古紙再生紙を利用しています